

シンポジウムの種

第3号 7月13日発行
宮城学院女子大学学芸員課程
2023年度シンポジウム実行委員会
連絡先 人間文化学科副手室
TLE 022-277-6166

ついに開催！

2023年度学芸員課程シンポジウム！今年のテーマは…



日時：2023年7月22日（土） 13：00～16：00（開場 12：30）

講師：會田容弘氏（郡山女子大学短期大学部）

場所：宮城学院女子大学 講義館 201 教室

無料で聴講いただけます。実習生2年生は出席必須、1年生は任意ですが…。

2023年4月に、博物館法が「改正」されたのはご存じですか？

その「改正」に伴い、博物館には文化観光への努力義務が付け加えられました。

なぜ社会教育施設である博物館に、文化観光への視点が付け加えられたのでしょうか。

日本が観光立国となった歴史から、會田容弘講師にわかりやすく解説していただきます！

そして、観光施設としての博物館のその先の未来とは…？

博物館が抱える数々の問題とその解決策を、これからの博物館を担っていく立場として

将来を見据えながら、学芸員経験豊かな會田容弘講師とともに考えます。

裏面に続く➡

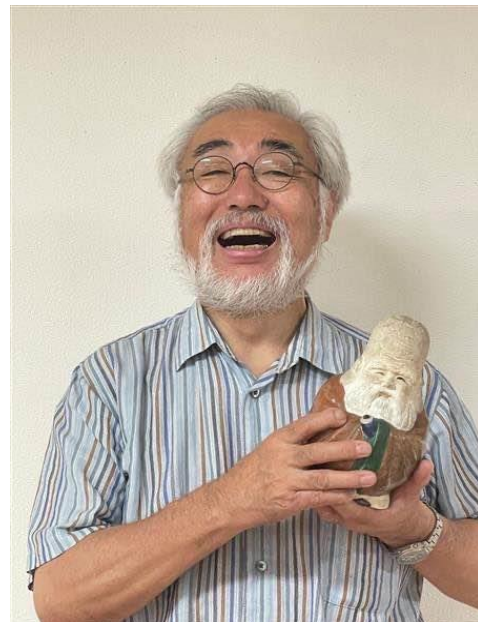
講演していただくのは…!

會田容弘 氏 *Yoshihiro Aita*

郡山女子大学短期大学部 地域創生学科

東松島市の奥松島縄文村歴史資料館学芸員として、資料館の立ち上げ、経営、展示、体験学習、教育普及、資料収集、資料整理などの実務に携わり、1995年より本学学芸員課程非常勤講師、2000年より現職（郡山女子大学短期大学部）。

旧石器時代の研究者ながら、近年は大津絵にも研究の幅を拡大中。



博物館実習 I の授業の様子 in 明石組

写真展も無事に終了し、フィルムカメラの実習も一段落つきました。博物館実習 I の授業は、各組ごとに異なる実習内容に入ります。そこで、今回は明石治郎先生のクラスの授業内容をお届けします！

明石組は、様々な博物館資料の中でも、特に古文書や巻物などに関する扱い方を学びます。



掛軸の構造や取り扱い方、展示方法などを勉強し、実際に実習生たちが展示作業を行いました。資料を傷付けることのないように細心の注意を払うのはもちろん、本紙が見る人の目線の高さにあるか、床と水平か、など展示作業をする上で気を付けるべき点を確認しながらの作業です。

展示作業の後には、その掛軸を使って、資料写真の撮影方法を学びます。カメラ実習の時の思いのままの撮影とは異なり、三脚や照明などの機材も用いて、資料写真の撮影を行いました。

編集後記

こんにちは！シンポジウムの種製作班です。シンポジウムのタイトルが決まり、いよいよ開催も近づいてきました。今号では、シンポジウムの詳細、講師の先生の紹介、明石組の博物館実習の様子について紹介しました。学芸員課程のHPには、『シンポジウムの種』カラー版や最新情報も掲載しておりますので、そちらもぜひご覧ください！次号も引き続きシンポジウムの新情報や、博物館実習の授業の様子などをお伝えしていくので、お楽しみに！

また、6月12日～16日に開催された写真展では、宮城学院女子大学の学生や先生方、OGの方、お忙しい中、足を運んでいただきありがとうございました。皆様のご協力により、無事に開催することができました。重ねて御礼申し上げます。

(石戸・小野寺・梶原・鈴木・藤澤)